

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



活躍した年:

1855~1924年



活躍した分野:

領主、教育者



ゆかりのある場所:

早島町戸川家記念館



とがわ
戸川

やすいえ
安宅

新高見
高梁社
総社市

早島町

倉敷市
矢掛町
井原市
浅口市
里庄市
笠岡市



とがわやすいえ あんせい ねん えど はたもとはやしまとがわけ だい とがわやすゆき こ
戸川安宅は、安政2（1855）年、江戸の旗本早島戸川家12代、戸川安行の子として
うしごめはらまち う
牛込原町に生まれた。

めいじがん ねん いえ つ はやしまとがわけ だいま りょうしゅ めいじ
明治元（1868）年に家を継ぎ、早島戸川家13代目の領主となりましたが、明治2（1
ねん がつ はんせきほうかん とち じんみん ちょうてい かえ りょうち うしな いご
869）年6月の版籍奉還（土地と人民を朝廷に返すこと）により領地を失ったため、以後
しんせいふ あた だいたいやしき す けいおうぎじゅく べんがく はげ
は新政府から与えられた代替屋敷に住み、慶應義塾などで勉学に励みました。

めいじ ねん がつ か きょう にゅうしん にほんきりすときょうかいこうじまちきょうかい いま に
明治7（1874）年12月6日、キリスト教に入信し、日本基督教会麹町教会（今の日
ほんきりすときょうだんたかなわきょうかい ぼくし でんどう おこな きょうかんけい しよせき さっし か
本基督教団高輪教会）の牧師となり、伝道を行うとともにキリスト教関係の書籍・冊子を書
きました。

ぶんがく ひろ ふか ちしき も めいじ ねん そうかん ぶんがくかい ひち
文学にも広く深い知識を持ち、明治36（1903）年に創刊された『文學界』では、七
ごちょう ごひちちょう ま し かつらがわ じょうし とむら うた たか ひょうか ざんか なまえ
五調と五七調を混ぜた詩「桂川（情死を吊う歌）」が高く評価され、「残花」という名前で、
めいじ たいしやう にほん ぶんだん だいかつやく
明治から大正にかけての日本の文壇で大活躍しました。

かつかいしゅう きゅうぼくしん て か ざっし きゅうぼくふ かんこう きゅうぼくふじだい かいそう ろんこう
また、勝海舟ら旧幕臣の手を借りて、雑誌『旧幕府』を刊行し、旧幕府時代の回想や論考、
ぶんげいさくひん けいさい しゅっぱんかつどう ちから い
文芸作品などを掲載するなど、出版活動にも力を入れました。

いっぽう にほんじょしだいがく そりつ くわ きょうじゅ がくしゅういんだいがく きょうじゅ つと
一方で、日本女子大学の創立に加わり、のちに教授、または学習院大学の教授を務めるなど、
きょういくかい たいへんこうけん
教育界にも大変貢献をしました。